

# 第77回 チベット史

## 1 チベット系民族の活動

- ・チベット系民族は、古くから中国西部に広がるチベット高原を中心に生活していた。
- ・中国に侵入した五胡の（ ）と（ ）はチベット系の民族とされている。
- ・五胡十六国時代に一時華北を統一した前秦は、この氏が建てた王朝である。

## 2 チベット地域の国家

### ☆吐谷渾（とよくこん）（4～7世紀）

- ・青海に成立した国で唐に服属していたが、吐蕃の攻撃で衰退した。

### ☆（ ）（7世紀～9世紀）

都…（ ） ※現在は中華人民共和国チベット自治区都

### ◆（ ）（在位？～649年？）

- ・7世紀、チベット諸族を統一して吐蕃を建国した。
- ・インド系の文字をもとにして、（ ）を作成させた。
- ・インド・中国から入った大乘仏教がチベットの民間信仰と融合し、（ ）が成立した。



ソンツェン=ガンポ  
チベットを初めて統一した王である。唐の皇女である文成公主を妻とし、チベットを発展させた。

- ・後に唐と争い、（ ）の際には、一時長安を占領した。
- ・吐蕃は9世紀に滅亡したが、その後もチベットを指す言葉として、吐蕃は長く使われた。

## 3 その他のチベット系民族の国家

### ☆（ ）（？～902年）

- ・雲南を中心に成立したチベット=ビルマ系の王朝で、唐と吐蕃との間で栄えた。  
→902年、漢人宰相に国を奪われて滅んだ。

### ☆（ ）（大夏）（1038～1227年）

### ◆（ ）（在位 1038～1048年）

- ・チベット系（ ）族が、中国の西北部に建国した。
- ・漢字を模した（ ）をつくらせた。
- ・1044年、（ ）と慶暦の和約を結んだ。
- ・1227年、モンゴルの（ ）によって滅ぼされた。

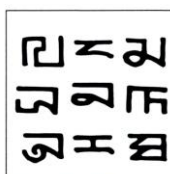


西夏王陵  
西夏の都は、興慶（現在の銀川）に置かれた。王の墓である王陵が残されている。  
第40回を復習しよう。

## 4 中国王朝とチベット

### <元代>

- ・13世紀、チベット仏教の僧（ ）が、元の（ ）の信任を受けた。  
→チベット文字をもとに（ ）を作成した。
- ・元ではチベット仏教が多いに栄えたが、財政難の原因ともなった。



バスハ文字 元朝に仕えたチベット仏教の僧バスパがフビライの命で作成。

<明代>

- チベットは烏斯蔵などと呼ばれ、ある程度の独立を保っていた。  
→チベット産の馬と中国産の茶を取引する茶葉貿易が盛んに行われた。
- 14世紀末、( )は( )のチベット仏教を創始した。  
→これがチベット仏教の主流となり現在に至る。
- 16世紀後半、タタール(韃靼)の( )がチベット遠征を行った。  
→モンゴルでチベット仏教が広く信じられるようになった。  
→アルタン=ハンは、チベット仏教の最高指導者( )の称号を贈った。  
→またダライ=ラマが、活仏(ラマ)として転生していくと考えられるようになった。



ツォンカバ

黄帽派(ゲルク派)は、妻帯や飲酒の禁止など、厳しい戒律を守る。ちなみにツォンカパとは「ネギ畑の人」という意味。



ラサのポタラ宮殿

ラサにある宮殿で、標高3770メートル付近にあり、富士さんの頂上とほぼ同じ高さ。17世紀にダライ=ラマ5世によって、ソンツェン=ガンポの宮殿跡に建設された。



五体投地

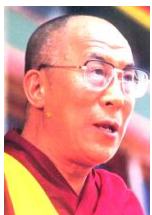
五体(両手・両ひざ・額)を地面に投げ出す礼拝の方法。この方法で少しずつ進みながら過酷な巡礼をする人もいる。

<清代>

- 17世紀後半、( )部が勢力を強め、チベットや青海をも支配した。  
→1720年、清の康熙帝が遠征を行い、チベットは藩部として清の支配を受けた。

5 中華人民共和国と現代のチベット

- 清が滅亡すると、チベットでは独立の機運が高まっていった。  
→1913年、( )が独立を布告したが中華民国に拒否された。
- 1949年に中華人民共和国が建国されると、1951年にチベットは中国に編入された。



ダライ=ラマ 14世  
チベット仏教の最高指導者。現在も積極的な活動を行っている。

- 1956年、チベット自治区準備委員会が発足したが、中国共産党が実権をにぎっており、チベット人の不満は高まった。  
→1959年、( )が起こり、中国に鎮圧された。  
→最高指導者の( )は、インドに亡命した。  
→中国とインドとの関係が悪化し、1962年には中印国境紛争となった。
- 1965年、チベット自治区が設置された。
- 2008年、チベットで反中国の暴動が発生し、北京五輪の開催に合わせて世界中で中国政府に対する抗議デモが起こった。  
→現在もチベット問題は未解決である。



チベット人の抗議デモ

中国がチベット人を抑圧しているとされ、北京オリンピックの聖火が世界中を周るのに合わせて、各地で抗議デモが起こった。チベット仏教の僧による抗議の焼身自殺も起きている。

